

キャラクター名 フラウメロウ
 プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	メイジ	Lv.1:	メイジ	性別	-
称号クラス				年齢	300年くらい
種族	フェイ：スプライト			境遇	紛失
出自(効果)	傭兵			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	4	7	12	12	8	12	7
ボーナス	1	2	4	4	2	4	2
クラス修正	0	0	0	2	2	2	0
他修正							
能力値	1	2	4	6	4	6	2

HP	24
MP	38
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S1ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部									
補助									
装身具	グリモア								
能力値			2	0	4	0	6	8	6
スキル									
その他									
総計(右)			2	3					
総計(左)			2	0	4	0	6	8	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	6			6	+ 2 d
アイテム鑑定	6			6	+ 2 d
魔術判定	6			6	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	
冒険者セット	
HPポーション	
MPポーション*2	
野菜*1	
【アームズクリスタル】	
S1ナイフ	
「魔力のクリスタル」	

現在重量：	9	所持金：	470	預金・借金：	
最大重量：	11				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フェイ：スプライト	★	5	セットアップ	20m	単体	自動	-	
効果：対象が行なう武器攻撃のダメージを〈光〉属性の魔法ダメージに変更する。この効果はラウンド終了まで持続する。また、キャラクター作成時に《飛行能力》を取得する。								
コンセントレイション	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：魔術判定に+1D								
ファイアボルト	★	6	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果：対象に魔法攻撃を行なう。その攻撃のダメージは[2D+10](〈火〉属性の魔法ダメージ)となる。								
マジックブラスト	1	3	ムーブ	-	自身	自動	-	
効果：「タイミング：メジャーアクション」「対象：単体」の「分類：魔術」の「対象：単体」を「対象：範囲[(マジックブラスト)のSL×2体]」に変更する。この効果はメインプロセス終了まで持続する。								
ファイアロード	2	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：〈火〉属性の魔法ダメージに+[SL×4]する。								
飛行能力	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：飛行状態となる。シーンに登場する際、このスキルの効果を適用するか、適用しないかを選択すること。このスキルの効果の適用と解除はマイナーアクションで行なう。								
デストロイヤー	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：オブジェクトを破壊するときのダメージに+2Dする。ただし、破壊不可のオブジェクトを壊すことはできない。								
スペシャリストI：火	★	-	戦闘前	-	自身	自動	メイジ	
効果：フェイトを1点消費。〈火〉属性の「分類：魔術」の魔法攻撃のダメージに+1Dする。この効果はシーン終了まで持続する。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

身長50cmの暗殺者“光の妖精”フラウメロウ

浮遊する発光体。全裸の壮年男性のような姿のスプライト。衣服の類は身につけていないようだが、かつて暗殺に使用していたナイフだけは必ず携えている。

妖精としては珍しい事だが、その性格は暗い。だが冒険には憧れを持っており、冒険者として第二の生を歩むことを望んでいる。

暗い過去とは裏腹に局部が明るい光に包まれており、基本的に健全。

【飛行状態】

PL：カテナ

【出自：傭兵】

帝国との小競り合いで幾度か名を挙げた同盟の傭兵団に飼われていた。妖精には人間同士の殺し合いに意味があるなどとは分からなかった。ただ、周りの人間の怒りや恐怖、殺意、そして後悔ばかりを知った。ヒューリン社会の戦争。その道理が分かったのは、既に自らが屍を築き上げた後だった。こんなことが正しいことだろうか。だが、この殺戮の先へ進まなければ、今まで手に掛け、殺してしまった者達の魂が浮かべられることもない。妖精は、ただ怨嗟の中で流されていった……。

【境遇：紛失】

戦争が落ち着くと、傭兵団はならず者集団へと下がり下った。同盟や帝国を問わず、村々への略奪行為を行なう日々。この妖精はそれら派生組織の中でも暗殺者